

抗菌薬に含まれる電解質について

入院患者において、高Na・高Kなど電解質異常のある患者に対して輸液の組成に注意して処方されることはままありますが、抗菌薬にはNaを主とする電解質が少なからず含まれており、時に考慮が必要かと思えます。当院採用の各薬剤に含有される電解質についてまとめました。インタビューフォームに記載があったものについて以下に記します。

・ナトリウムを含有する抗菌薬

薬剤名・規格	1Vあたりの含有量(mEq)
ピクシリン1g	2.86
スルバシリン1.5g	5
スルバシリン3g	10
ピペラシリン2g	3.86
タゾピペ4.5g	9.39
セファゾリン1g	2.2
セフメタゾール1g	2.12
フルマリン1g	2.9
セフトリアキソン1g	3.61
クラフォラン0.5g	1.045
ワイスターール1g	2.71
チエナム0.5g	1.63
メロペネム0.5g	1.96
ホスミシン2g	29

生理食塩液は100mLあたり
15.4mEqのナトリウムを含有
しています。



ナトリウム含有量が多く、
生理食塩液で溶解する
場合は輸液100mL以上が
必要です。

・カリウムを含有する抗菌薬

薬剤名・規格	1Vあたりの含有量(mEq)
ペニシリン G 100 万単位	1.53

今回まとめた薬剤以外で、インタビューフォームには記載はなくとも電解質を含有する薬剤はありますので、情報が必要な際はご相談頂ければと思います。